

としょかん南アルプス



南アルプス市立図書館通信 No.47 2021年3月1日発行 <http://m-alps-lib.e-tosho.jp/>



南アルプス市出身漫画家

花松 あやか

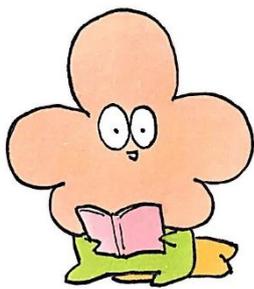
はなまつ あやか

近くに大きな書店もなく好きに本を買える小遣いもなかった子供の頃、図書館は正に宝箱のようでした。

目当ての本を探して右往左往したり、偶々目についたタイトルの本を手にとって無造作に読み始めてみたり。見渡す限りの本の道に、静かで落ち着いた空間、紙とインクの匂いに満ちて、そこかしこで誰かがページを捲る音がする。日常の延長にありつつ、今も昔も特殊で特別な空間です。

私は昔から物語が好きで、絵本に始まり童話や児童文学、ライトノベル、ミステリーや恋愛小説、たくさんの「物語」を読み漁っていました。何より漫画が好きだったので図書館に置いてある漫画は有り難く、片っ端から読んでいた記憶があります。今のようにインターネットもなかったので読書は貴重な娯楽でした。

物語に没入して登場人物の経験や感情を追体験する中で、自分の中になかった感情や価値観にごく自然に出会える。知らない単語に出会っては調べ情景を思い浮かべバックボーンに思いを馳せる。新しい世界が広がっていく充実感で満たされる。そういったあらゆる物語との出会いや感動が私の漫画家という職業に繋がっているのだと思います。



著者近影・本人より提供

ずっと心に残って些細まで全て覚えているような作品もあれば、タイトルも覚えていないのにふとした時に思い出す小説の文字で彩られた情景、目に焼きついた漫画のワンシーン、忘れられない台詞もある。今尚多様な本を読んでは、物語達に与えられる出会いや感動を味わっています。

そんな風に自分が人生で出会ってきた本達のように、感情への出会いとして、価値観に影響を与えるものとして、はたまた一瞬出会って忘れられる娯楽としてでもいい、私の漫画が誰かの人生に関わったら嬉しく思うのです。

漫画家プロフィール

1989年生まれ、巨摩高等学校卒業、東京デザイナー学院卒業後2017年に集英社マーガレットにて『うそと恋の花』で漫画家デビュー。現在同誌にて『神様が恋をしると言っている！』連載中。

『神様が恋をしると言っている！1』▶
花松あやか／作
集英社



図
書
館
の
思
い
出

わかおいっぺい
若尾逸平
生誕 200 年

天 秤棒一本で稼ぐ行商生活から財を成し、ついには「甲州財閥」のトップランナーとして活躍した実業家、若尾逸平(1820年-1913年)が生誕 200 年を迎えました。楡形生涯学習センター内にある南アルプス市「ふるさと人物室」では 2018 年 10 月から翌年 3 月まで、若尾逸平の業績を展示しました。

～若尾逸平の生い立ち～

武士を志し江戸に出たが挫折。葉煙草を中心に行商生活を営みました。横浜開港時に生糸・水晶などを売り巨利を得たことから、蚕糸業に力を入れ甲州糸の評価を高めることとなります。明治 10 (1877) 年、第十国立銀行(現山梨中央銀行)設立の最高出資者となり、明治 22 (1889) 年に初代甲府市長、翌年には県内初の貴族院議員に当選しました。「株式は“あかり”と“乗りもの”に限る」と、当時の成長産業への投資をおこないました。山梨県出身の実業家たちが東京電燈株式会社(現東京電力)を勢力下に置いた頃から、財界で「甲州財閥」として認知され始め、その巨頭と仰がれました。明治 32 (1899) 年、行商時代からの宿願だった開国橋の架橋を果たしました。



ふるさと人物室



中央図書館内の「ふるさと室」には「ふるさと人物室」に関連した資料のコーナーもありますので、そちらも併せてご覧ください。

南アルプス市わかくさ朗読ボランティア

はなしんぼ

全国優良読書グループ表彰 受賞

全国優良読書グループ表彰とは、「読書週間」事業のひとつとして公益社団法人 読書推進運動協議会が各都道府県読進協を通じて行われているものです。

今年度受賞した全 39 グループのうち、山梨県からは「南アルプス市わかくさ朗読ボランティア はなしんぼ」(平間恵美子代表)が受賞し、第 34 回山梨県図書館大会(オンライン開催)で表彰されました。



授賞式の様子



朗読会やすらぎ亭の様子
令和 2 年 12 月 5 日開催

はなしんぼの活動について

1980 年頃から視覚障がい者の方に声の広報をお届けする活動から始まりました。年 3 回の図書館朗読会や、年 2 回の市内の朗読グループと共に開催する朗読会への参加のほか、地域のサロン、施設、小学校への出前朗読会などを実施しています。